



平成 28 年 4 月 21 日

各 位

会 社 名 豊田通商株式会社
代表者名 取締役社長 加留部 淳
(コード：8015、東証・名証第一部)
問合せ先 渉外広報部 広報室長 石田 康介
(TEL. 052-584-5011)

減損損失の発生及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 10 月 23 日に公表した平成 28 年 3 月期（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）の通期連結業績予想について、一過性の減損損失が発生する見込みとなったことを踏まえ、下記の通り修正することを本日開催の取締役会において決議しましたので、お知らせ致します。

1. 通期連結業績予想の修正

(1) 修正の内容

平成 28 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 8,400,000	百万円 154,000	百万円 139,000	百万円 35,000	円 銭 99.48
今回修正予想 (B)	8,150,000	140,000	128,000	△44,000	△125.07
増減額 (B-A)	△250,000	△14,000	△11,000	△79,000	△224.55
増減率 (%)	△3.0%	△9.1%	△7.9%	-	-
(ご参考)前期実績 (平成 27 年 3 月期)	8,663,460	169,456	156,267	67,571	192.23

(2) 修正の理由

資源価格の低迷等を考慮の上、各投資案件の事業価値の見直し等を行った結果、下記の一過性の損失が発生する見込みであることから、平成 27 年 10 月 23 日に公表した通期連結業績予想を上記(1)の通り修正致しました。

<主な要因>

分類	内容	親会社株主に帰属する当期純利益への影響額
資源案件	豪州・カナダガス事業等の事業価値を再評価	約△450億円
資源以外案件	関係会社処理損、及び資産の減損等	約△110億円
繰延税金資産の取崩し		約△230億円
合計		約△790億円

2. 主な損失の内容

(1) 豪州・カナダガス事業における減損損失（約△450億円）

豪州クイーンズランド州炭層メタンガス開発・供給プロジェクト等、豪州ガス事業において、昨今のガス市況及び今後の需給の動向を踏まえ事業価値の再評価を行った結果、価値毀損分につき、約370億円の特別損失（「減損損失」）を計上する予定です。

また、カナダガス開発・生産事業において、上述と同様の理由により、事業価値の再評価を行った結果、価値毀損分につき、約80億円の特別損失（「減損損失」）を計上する予定です。

(2) 繰延税金資産の取崩しについて（約△230億円）

今後の業績見通し等を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討を行った結果、その一部を取崩すことと致しました。

なお、個別決算において、上記の案件等に対する投資につき、約710億円の特別損失（「関係会社投資有価証券及び関係会社出資金評価損」）を計上する予定です。この金額には、連結決算上消去されるものを含みます。

3. 配当予想について

期末配当予想につきましては、平成27年10月23日に公表した1株当たり31円から変更はありません。（年間配当金62円）

【将来に関する記述等についてのご注意】

本資料に記載されている業績予想等の詳細に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上